

平成 30 年度入学試験問題 民法 出題趣旨

民法 第 1 問

(1) 基礎的な判例（最判昭和 41・11・25 民集 20 卷 9 号 1901 頁）の知識を問う問題である。ただし、対抗問題との関係についての言及があれば、より深い検討となろう。

(2) 比較的最近の最判 24・3・16 民集 66 卷 5 号 2321 頁をモデルとした出題である。さらに、最判平成 15・10・31 判時 1350 頁との関係についても検討が望まれる。

民法 第 2 問

借地上建物に譲渡担保権の設定を受けた者が有する権利の内容、登記を備えたことで負うことになる法的義務の理解を問うたものである。